

ゴルファーが絶対やっちゃいけないことを大統領がやっていた!



ゴルフ場でも雲行き怪し……?

さまざまな「疑惑のデパート」と化しているドナルド・トランプ大統領。これまで「まとも」とされてきたゴルフのプレーぶりにもついに批判が……。

多少の成金趣味はあっても彼が作ったり買収したりするコースは、質が高いとの評価があった。また、かつてはスクラッチプレーヤーだったともいわれていることから、ゴルフの見識だけは高いとされていたのだが、そんな神話もあっけなく崩れてしまった。

というのも、ゴルフアーにとつては「衝撃」の映像がネット上に出回ったから。トランプ大統領は自らハンドルを握ったゴルフカートでグリーンを横切ったのだ。グリーン

がコースの「命」なのはゴルフアーなら誰もが知っていること。そのグリーンの上を痛めるカートの乗り入れは、固く禁じられているエチケットなのに……。しかも、撮影されたコースはニューヨーク州ベッドミンスターにあるトランプナショナルGC。名の通り自身がオーナーだが、13日から開催される全米女子オープン会場でもあるのだ。同オープンは大ともしられるイベントだけに、試合前のコースのセットアップや管理は、とくに気が使われる。トランプ大統領の行為は、一般ゴルファーはもとより大会主催のUSGAも愚弄したといえる。

撮影されたのは、6月9日だが、下旬になって映像が明るみになった。それがゴルフ誌ばかりでなく、ワシントンポスト紙などをはじめとする一般紙が伝えた。ネットは炎上し、トランプ支持者からも「これまで信じていたが、すぐにでも弾劾すべきだ」とか「これは彼が犯した最大の罪

ゴルフスタジアム(以下GS社)という会社に、HPの作成・運営管理を委託していた多くのレッスンプロが多額の債務を背負って、被害者のレッスンプロ有志18人がGS社の破産手続開始を申し立てた。

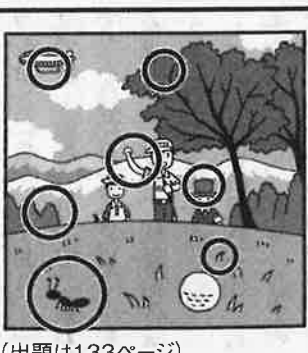
破産手続は負債を返済できなくなった債務者が裁判所の監督のもとに資産を現金化して返済原資をつくり、その範囲内で債権者に債務を返済、残りは免除してもらおうための手続き。債務者自身が申し立てる自己破産が一般的だが、資産隠しをするような債務者に対して債権者が申し立てることも可能だ。債務者であるGS社の代表から裁判所が事情を聞いたうえ、破産手続が「だ」といった声まで挙がった。

さらには、ワシントンDCには、近い、バーモント州にあるトランプナショナルGCでは、同じような乗り入れが常習化していたという証言や写真まで飛び出し、騒ぎはしばらく続きそうだ。

適当と裁判所が判断すれば、裁判所が選任した破産管財人のもとで資産調査が行われる。本件は、レッスンプロらユザー向けにGS社がHPを作成・運営管理するサービスとスウィングの分析ソフトとがセット販売され、それとは別の契約でGS社が作成したHPに掲載する広告の獲得サービスも組み込まれている。レッスンプロらはソフトをり

今度は破産申し立て どうなるGS問題

GS社は6月22日付で、ユザーに対し「現状と今後について」と題した文書を送っており、そこには取引銀行12行と返済について協議中であること、別の債権者から三井住友銀行の預金に仮差し押さえを受けていること、仮差し押さえ解除にはレッスンプロらが受け取っていない広告料債権を放棄することが条件であるといわれている。GS社は従業員を解雇、浜松町のオフィスを引き払ってバーチャルオフィスに引っ越しをしたようだ。多くのグループ会社に資産が移されている可能性もあり、実態の解明が待たれる。



(出題は133ページ)

〈間違い探しの解答〉